

令和4年度中山間地域振興協議会の概要について

〔広島県地域政策局
中山間地域振興課〕

1 日 時

令和5年2月3日（金） 14:00～14:50

2 場 所

メルパルク広島 5階「桜」

3 議 題

令和5年度 中山間地域振興の取組について

4 知事あいさつ（要旨）

中山間地域の振興にあたっては、「中山間地域振興計画」に基づいて、県と市町が連携し、「人」づくり、「仕事」づくり、「生活環境」づくりの三つの柱に沿って取組を進めているところである。

「人」づくりにおいては、570名を超えた「ひろしま里山・チーム500」登録者による、地域を巻き込んだ新たな活動の立ち上げを積極的に進め、「仕事」づくりにおいては、市町によるサテライトオフィスの誘致活動を支援し、「生活環境」づくりにおいては、デジタル技術の実装による生活環境の向上に向け、共有できる技術の横展開を図るなどの取組を進めている。

今後とも、市町と一体となり、持続可能な中山間地域の実現につなげていくよう施策を充実・強化してまいりたい。

この度の協議会は、3年ぶりの対面開催となるので活発な意見交換を行いたい。

5 主な意見等

・平成26年度に広島県教育委員会で策定された「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」が令和5年度で最終年度となる。魅力ある高校づくりについて、後継計画を策定する中で、地元自治体の声や学校活性化地域協議会の意見を聞いてもらえるか。地元にとって、特に中山間地域にとって、高校は大きな存在であり、人口減少のスピードを少しでも緩めるために必要な存在だと思っている。出来るだけ高校を守っていくために私たちも色々と考え、手を打っている。そういった姿勢も含め県にご検討いただきたい。

・MaaSなど新たな交通サービスについて、住民の方々に理解してもらうのは難しい。広島型MaaSのイメージを具体的に紹介してほしい。

・定額タクシーの決済に地域通貨を使用しており、高齢者の皆さんに実際に便利だと喜ばれている。決済から入っているが、色々なサービスの課題がある中で、公共交通と行政と使用者と公共交通の事業者だけでなく、より多くの皆さんに支えてもらうような仕組みを作っていきたい。

・コロナはある意味で中山間地域にとって追い風が吹いていると思っていたが、先般、広島県からの社会減による人口流出は全国一位であると衝撃的な数字が出た。県からどういう風に人口流出が進んでいるのか、中山間地域でどれくらい減っているか、分析があればお聞きしたい。

・「スポーツを通じた地域活性化」について、もっと戦略的なプログラム事業がほしい。例えば世羅町＝駅伝の町、これは地域の活性化の成功例で、世羅町をお手本にこのモデル事業を全県展開し応用していくように戦略的な指導をしていただきたい。そうでなければスポーツを頑張りたい子供は広島市内に行かなければならなくなる。早めに手を打ってほしい。

・いわゆる移動手段の実証実験である MaaS 計画を他市町でされており、我が市でも行いたいと思うがなかなか難しい。実証実験については、情報提供や情報共有をしていただきたい。

・デジタル技術を活用した新たなサービスは、広域展開にむけて色々なハードルがあるが取組を進めていきたい。他の市町へ横展開をしていくために継続的な支援を県にお願いしたい。

以上